

生徒さんのちょっといい話

ここではセミナーでの生徒さんからの話を紹介しています。



〈さいたま市 Yさん 60代女性〉

「片づけができない娘に小言を言ってきましたが、私自身がモノと向き合って生活していれば、娘も自然に片づけを学んでいくと教わり、子どもは親を見ているのだと、何かストンと心に落ちました」



〈春日部市 Tさん 50代女性〉

「講座での〈片づけが楽しみに変わってくる〉話は、信じられませんでしたが、洗面所を少し片づけただけでも、スッキリして嬉しくなって、いつかは楽しみに変わるかも、と思える様になりました」
未来につながる片づけを始めたおふたりに拍手です👏

朱夏っと日和

～ひとりごと片づけ日記～



実家には古いピアノがある。私はそのピアノに愛着がないので、処分してもいいと思っていたが、母が処分を嫌がったのでそのままにしてある。

その昔、母は、娘たちにピアノを習わせたいと漠然と思っていた。そのことを何気なく話題にしたところ、父がポンとピアノを買ってくれた。普通のサラリーマンだった父が何も言わずに母の思いを叶えてくれた、このことが母には、大切な思い出なのだ。

母の思いをよそに私に思いがないのは、ピアノが好きではないから。姉妹で通っていた教室では、妹と比べて、進みのよくない私はいつも先生に叱られていた。先生の笑顔の記憶が全くないほど。5～6年習って、やめてしまったが、ピアノと縁が切れたことでほっとした。

最近、私の講座でのつながりで「ピアノが大好き」という Mさんとお会った。趣味だけで習い続けてきて、超絶技巧曲のラ・カンパネラまで弾いてしまう。

Mさんは、ピアノにコンプレックスを持っている私に「自分で気持ちよく弾ければ下手なピアノはない」と言ってくれた。びっくりした。この言葉を私にさらりと言ってくれる人がいたなんて。

そこから、『練習を始めてピアノが大好きになりました』なら美談だけど、調律していないピアノ、動きを忘れてる指、練習嫌いの私、そんな素晴らしいことは起きない。済みませんね…

でもピアノへの思いは以前とは違っている。私の苦い思いが消え、母の幸せな思い出がグンと前に出てきた感じ。

いつかこのピアノを手放す時、ちゃんと「ありがとう」を言えると思う。長い時間をかけて、ピアノが今、幸せの物語のひとつになった。

Mさん、ありがとう😊

クロワッサン

捨てて、整えて、スッキリ暮らす。

本の紹介

片づけ本の一冊をしっかりと読み込んで片づけ方を学びやり方もありますが、気軽に片づけ特集号の雑誌をパラパラと読んで、自分でできそうなやり方を試してみるのもいい方法です。

情報は日進月歩、新しい形の片づけ方のヒントをさらっともらえます。



クロワッサンは1年に3～4回片づけ特集号が発行されます。写真の本は片づけ特集の最新号です

クロワッサン 8/25 取り寄せできます(10/1時点で在庫あり)

ブログでも本の紹介をしています
朱夏っと LIFE のお片づけ日記→<https://ameblo.jp/shukalife/>

講座のご案内

○資格認定講座〈整理収納アドバイザー2級認定講座〉

10/27 11/25 12/15 9:30～16:30 春日部市民文化会館

ご希望日開催も可能です オンライン受講もできます

○コープカルチャー〈片づけ講座〉

毎月第2木曜日 10:30～12:00 コープカルチャー富士見

短期 11/19(土) 10:00～11:30 コープカルチャー春日部

○一般向け講座〈片づけ上手になりましょ〉

10/14 11/26 13:00～14:00 無印良品東武動物園駅前店

○蓮田市生涯学習講座〈片づけの進め方〉

11/16 10:00～11:30 西口行政センター

※講座の詳細は朱夏らしいの HP をご覧ください



整理収納 Q & A

- Q 空き時間に片づけを始めますが、少し時間が経つと飽きてやめてしまいます。なので、いつも半端なままです。
- A モノをひとつずつ「いる？いない？」と判断するのは、皆さんが思っている以上にとても頭が疲れる作業です。一度に長い時間をかけない様にあらかじめタイムリミットを決めておくと、負担が少なく済みます。片づけは、一回一回の時間を短くしてでも、回数を増やす方がやる気も持続し、家全体も片づいていきます。長時間片づけが必要な時は、小まめに休憩を入れ、ご褒美スイーツなどで気分転換をしながら、疲れない片づけをして下さい。



収納のコツ

モノは、目につく所に出したままにしておく、モノの色や不揃いの形が目立ちスッキリ感が生まれません。

あえて見せる収納にする場合以外は、モノはしまう方が、インテリアも映えます。ですが、テーブルやキッチンカウンター、玄関の下駄箱の上などモノの置きやすい所にはどうしてもモノが溜まります。

他に定位置を決めても、そこに置いてしまうのであれば、そこを正式な定位置と決め、工夫をしてスッキリ感を出すようにします。

まず、種類別に整理し、ケースなどでそれぞれ他の種類のモノと区切ります。モノは横に並べるより縦に置く方が整然と見えますから、紙類はグッズなどを利用して縦に安定させます。

置きやすい場所は秩序なくモノを置きやすいので、置くモノを厳選して、期限などにルールを決めてモノがそこに意味なく停滞しない様に気をつけてください。



グッズの紹介

テーブル上などに便利なグッズ〈モノを立てる〉



(上左)ナプキンスタンド

(上右)デスクトップスタンド

〈モノを仕切る〉



(下)収納ケース

アクリルスタンドは⇒置くと高さが出て、スッキリ感が出ます(100均)



「床置きをなくす」ってどういうこと？

片づけ用語では、モノの定位置が決まっていないために、とりあえず、床に置くことを「床置きする」と言いますが、この床置きが、家が片づかない原因にもなります。

「床置きをなくす」は、定位置が床にあるモノ以外は床に置かないことです。

それは、「モノに定位置を決めましょう」につながります。片づけの始め方に迷う場合は、この「床置きをなくす」を最初の目標にすると軸が決まりやりやすいです。

床置きがなくなることで、格段に掃除しやすくなるので、床置きをしないメリットは大きいです。

